

開催月日 : 平成 26年 9月 18日

第2回 定期巡回・随時対応型サービス連携推進会議

時間	am/pm 6:30 ~ am/pm 7:30	場所	千代田区役所 4階 402/403会議室	
司会	●●●●	書記	露崎	
出席者	○千代田区高齢介護課介護事業指定係: ●●●●様、●●●●様			
	○千代田区社会福祉協議会: ●●●●様			
	○地域包括支援センター: 金井英明様(神田地区)、●●●●様(麹町地区)			
	○医療機関: 在宅療養支援診療所 ●●●●様(千代田区医師会)・●●●●様(神田医師会) ●●●●様(九段坂病院) ●●●●様(三楽病院) ●●●●様(三楽病院)			
	○訪問看護: ●●●●様 (九段訪問看護ステーション・連携)			
	●●●●様 (アクア訪問看護ステーション・連携)			
	●●●●様 (神田訪問看護ステーション・連携)			
	○地域住民の代表者: ●●●●様(民生委員)			
	○知見を有する者: ●●●●様、●●●●様、●●●●様、●●●●様、●●●●様 ●●●●様、●●●●様、●●●●様			
	○指定事業者			
	グッドライフケア24: ●●●●、●●●●、●●●●、●●●●			
	かんだ連雀いつでもサポートサービス: 峯俊美、浅見達也、露崎信夫			
	会議内容	① 開会の挨拶		
		グッドライフケア24管理者: ●●●●		
② サービス提供状況及び事例紹介				
かんだ連雀いつでもサポートサービス: 浅見達也				
グッドライフケア24: ●●●●・●●●●・●●●●				
③ ご出席者皆様よりご意見・講評				
詳細	④ 閉会の挨拶			
	かんだ連雀いつでもサポートサービス管理者: 峯			
	② サービス提供状況及び事例紹介			
	●かんだ連雀いつでもサポートサービス			
	○ご利用者S様・94歳・女性についての事例報告。詳細は、別紙①参照。			
	○第1回定期巡回・随時対応型サービス連携推進会議に於ける、かんだ連雀いつでもサポートサービス事業評価及びアンケート結果について、詳細は別紙②③参照。			
●グッドライフケア24				
○前年度の課題であったサービス提供による効果の評価方法について、FIM(機能的自立度評価表)を用いての事例報告。詳細は、別紙④参照。				
○第1回定期巡回・随時対応型サービス連携推進会議に於ける、グッドライフケア24の事業				

詳細

評価及びアンケート結果について、詳細は別紙⑤⑥参照。

○現在、グッドライフケア24で使用中のご利用者情報共有のクラウドシステムソフト (salesforce) についての紹介。詳細は、別紙⑦参照。

③ ご出席者皆様よりご意見、講評

●ご利用者情報共有のクラウドシステムソフト (salesforce) について

○高齢者あんしんセンター神田 金井センター長より

各事業所がそれぞれ記録用のシステムを使用しているが、総合乗り入れは考えているのか？

また、セキュリティーについて、どのように考えているのか？

各事業所がセールスフォースを使用するにあたり、自事業所の記録とセールスフォースへの記録と業務が増えることに対して、どのように考えているのか？

○グッドライフケア24 ●●より

セールスフォースの中での提案を想定しており、他社システムとの総合乗り入れは、技術的な面で難しいが検討していく。記録の入力について、同じことを2回実施することは、大変な手間になり、今後の課題と捉えている。今回は、一つのシステムの紹介としてご理解を頂きたい。

●事業評価及びアンケート結果について

○高齢者あんしんセンター神田 金井センター長より

両事業所とも事業評価のアンケート結果に於いて、①定期巡回サービスを理解して頂くための工夫がされている。②サービスに関して情報提供は十分である。の項目の評価が低い、今後どのように取り組むのか？

○かんだ連雀いつでもサポートサービス管理者 峯より

①②の評価が低いことは、課題として受け止めている。今後、定期巡回サービスを理解して頂くような説明会を開くなど目標を持って動いている。

○グッドライフケア24 ●●より

定期巡回サービスの利用にあたり、ケアマネージャーへの具体的な援助内容や可能な訪問回数、介護度別の利用状況などの情報が足りなかったと思う。その為、今回のサービス提供状況の報告の中で説明させて頂いた。情報提供の十分さについては、連携事業所間に於けるご利用者情報の共有が出来ているのかという意味合いも含まれていると考えて、セールスフォースシステムを利用することで情報の共有が出来るのではないと思う。

●緊急時の連絡方法について

○在宅療養支援診療所 ●●●●様より

緊急時の連絡は、どのように行っているのか？また、冷蔵庫内にある救急医療情報キットを使用したことはあったか？

詳細

○グッドライフケア24 ●●●より

訪問看護の利用がある場合は、まず看護師に連絡する。利用がない場合は、ご家族・主治医に連絡する。今までに緊急コールがあり、主治医に指示を仰ぐようなことはなかったが、事前に主治医との連絡手段は確認している。緊急時に救急医療情報キットを使用するようなことはなかった。

○かんだ連雀いつでもサポートサービス管理者 峯より

緊急時の対応の事例の報告として、かんだ連雀いつでもサポートサービスとして、初めて看取りの援助に携わり、その際に訪問時に呼吸苦があり、連携の訪問看護、往診医に連絡して、その日の内に在宅酸素を利用するということがあった。

●ケアマネージャーの役割について

○在宅療養支援診療所 ●●●●様より

定期巡回サービスでは、ケアマネージャーの役割が見えにくい。ご利用者の状態の変化に応じて柔軟なサービス提供をする為には、関係機関での情報共有が大切と考える。また、本サービスに係るケアマネージャーは、留意する必要があると思う。

○グッドライフケア24 ●●●より

連携を行う中で情報の共有は、ケアマネージャーと徹底しなければならないと捉える。

○かんだ連雀いつでもサポートサービス管理者 峯より

申し込み時の情報だけでは、ご利用者の状態が正確に把握できないことがある。今までの訪問介護訪問看護では、決められた時間にしか援助に入れなかったが、定期巡回サービスは、所定の時間以外にも随時援助に入ることが出来る。その為、本人の了承を得た上でご利用者の様子を伺いに訪問し、生活の課題や医療的に必要なことの把握などを行っている。また、ケアマネージャーや連携の看護師などと一緒に訪問をして援助の変更を検討することもある。

●定期巡回サービスの利用などについて

○民生委員 ●●●●様より

あんしんセンターは、麴町地区と神田地区があり、それぞれ地区内の住民が利用しているが、定期巡回サービスは、両事業所とも利用することが出来るのか？また、定期巡回サービスをもっと区民への周知をお願いしたい。

○千代田区高齢介護課介護事業指定係 ●●●●様より

両事業所とも利用することは、基本的には可能になる。定期巡回サービスの周知については、区としても一所懸命に行っていく。区内には2事業所あるので、両事業所で切磋琢磨して良い所を伸ばしてご利用者が増加すれば良いと考える。

○かんだ連雀いつでもサポートサービス管理者 峯より

詳細

定期巡回サービスは、事業所とご利用者宅間の移動がおよそ30分以内になるようにと述べられている。その為、麴町地区のご利用者から依頼があったが30分以内の訪問が難しく、また、緊急時の対応も考慮してお断りした事例がある。

●その他

○千代田区高齢介護課介護事業指定係 ●●●●様より

かんだ連雀いつでもサポートサービスの事例で、定期巡回サービス以外にも社会資源を上手く利用していることが評価できる。グッドライフケア24が説明したシステムについて、事業所や関係者間での迅速な情報共有ということからシステムの開発・利用は賛成である。ただ、金井センター長が話したように、そのシステムですべてが達成されているということはなく、セキュリティ・コストなどの問題があり、連携推進会議のような場所でも検討していかなければならないと思う。

○高齢者あんしんセンター麴町 ●●センター長より

かんだ連雀いつでもサポートサービスの8月と9月の利用登録者数は？
グッドライフケア24のセールスフォースの導入費用は？また、現在、他事業所と連携しているのか？

○かんだ連雀いつでもサポートサービス管理者 峯より

8月は、6件。9月は、7件になる。

○グッドライフケア24 ●●より

セールスフォースの利用にあたり、アカウント取得費用が5,000円、他にパソコンとインターネット環境が必要になる。他事業所との連携は、行っていないが、グッドライフケアの訪問介護・看護・リハビリ、居宅支援サービス、デイサービスでは、利用している。

○次回開催：第3回 平成26年12月18日18:30～

以上